*2024年3月改訂　（第2版）
2018年4月作成　（第1版）
認証番号　229ADBZI00076000

機械器具(21) 内臓機能検査用器具
管理医療機器 特定保守管理医療機器
睡眠評価装置(33843000)

「Nox A1システム」の付属品
サーマルフローセンサ

社内管理コード P260X11A00-02

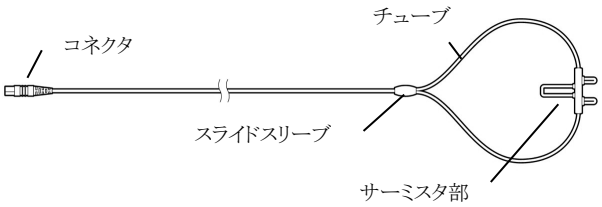
【禁忌・禁止】

1. 使用方法
- 可燃性麻酔ガス、および高濃度酸素雰囲気内では使用しないこと。［爆発または火災を引き起こすおそれ］

2. 併用医療機器 「相互作用の項参照」
- MRI 検査を行う際は本装置を検査室に持ち込まないこと。［MR 装置への吸着や、火傷等のおそれ］
- 本装置を装着したまま除細動をしないこと。［除細動器の意図した電流経路が変わり除細動効率に影響を与えるおそれ、高電流密度により火傷のおそれ］
- 本装置を装着したまま X 線撮影を行わないこと。［過熱、火傷等のおそれ］
- 本装置を装着したまま高周波装置を使用しないこと。［感電、火傷等のおそれ］

【形状・構造及び原理等】

1. 構成



【使用目的又は効果】

本装置は、医療施設および在宅において、2歳以上の患者の睡眠中の生体信号を記録し、睡眠障害を評価するために使用する。

【使用方法等】

使用方法

4チャンネルのバイポーラ入力部を、温度気流検知に設定するには、専用の評価用ソフトウェアがインストールされたコンピュータから行う。

1. サーミスタ部の2つの突起側を曲げて、鼻孔内に入らないようにし、入口付近に配置する。サーミスタ部の1つの突起側は、上唇の中央に合わせる。センサは壊れやすいため丁寧に扱う。
2. チューブを耳に掛けてから顎の下に引く。
3. スライドスリーブを顎の下まで引上げ、チューブを固定する。
4. コネクタを本体のバイポーラ信号入力部へ接続する。

以降の操作は「Nox A1 システム」本体の操作に準ずる。

＊併用機器

本品と併用することができる医療機器を次に例示する。
- 一般的名称：睡眠評価装置
- 販売名：Nox A1sシステム
- 認証番号：305ADBZI00017000

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 使用前に各装置を確認し、破損している装置、センサ、付属品は使用しないこと。
2. 患者あるいは使用者への深刻な危害発生の可能性を排除するため、本体に接続された未使用の装着部と保護接地に接続されているものを含む他の導電性部品との偶発的な接触を避けること。
3. 患者あるいは使用者への深刻な危害発生の可能性を排除するため、不感電極を含む電極及び関連するコネクタの導電部が保護接地を含む他の導電性部品と接触させないこと。

相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・設置方法	機序・危険因子
核磁気共鳴画像診断装置（MR装置）	検査室に本装置を持ち込まないこと。	誘導起電力により局部的な発熱で火傷のおそれがある。また、磁気により本装置が吸着されるおそれがある。
除細動器	除細動を行う前に本装置を患者から取り外すこと。	電流経路の変化による除細動効率の低下のおそれがある。また、電極部に高密度電流が発生し、火傷のおそれがある。
X線撮影装置	装着したままX線撮影を行わないこと。	エネルギー吸収により局部的な発熱で火傷のおそれがある。
高周波装置	装着したまま高周波装置を使用しないこと。	感電や火傷のおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

(1) 水濡れに注意し、高温・多湿・直射日光を避け保管すること。
(2) 振動、塵埃、腐食性ガスなどの多い場所や、化学薬品によるガスの発生する場所に保管しないこと。
(3) 次の条件を満たしている環境下で保管すること。

温度　：-20 ～ 60℃
相対湿度　：5 ～ 95%（結露しないこと）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

洗浄方法

サーミスタ部とチューブ、ケーブルを腐食性のない洗剤を含ませた布で拭き、使用前に洗浄する
- 再使用する前に、センサ全体が完全に乾燥していることを確認すること。
- センサを消毒液に浸さないこと。

取扱説明書を必ず参照のこと

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

選任製造販売業者

帝人ファーマ株式会社

電話:03-3506-4077(代表)

製造業者

Nox Medical / ノックス メディカル(アイスランド)

取扱説明書を必ず参照のこと